

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名 縁berry

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		活動によってスペースを分けている。	子供同士の距離感をとっていく。配置を考えたり、利用定員を適切にしていく。
	2	職員の配置数は適切である	8	1	予定がでた時点で1ヶ月まとめて考えている。	職員の人数を増やし、安全な配置をしていく。退職者がでないように環境を整える。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1	車イスの利用者様も行き来しやすいよう、ノンステップにしている。	駐車場から入口までの間の砂利や段差等に対して、コンクリート工事や手すりの設置等を相談していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	毎日日案を通して申し送りをを行い、職員間で共有している。	目標設定と振り返りを明確にする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			計画表に基づき、良い所は継続、改善点はすぐに実践にうつせるようにしていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	3		事業所のお便り等でHPに掲載していることをお伝えする。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4		第三者の該当者がわからない。第三者から意見を聞く方法を知る。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	4		研修の有無を確認し、感染症対策をしながら参加できるものがあれば参加していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	保護者に見学シートや基本情報を書いたいただき、それを基に計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3	見学シートをアセスメントツールとして使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		フロアリーダーを中心として行っている。	職員間で案を出し合い、多数のアイデア取り入れられるようにしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		曜日担当を決めたり、ルールや使用するものを変え固定化しない	活動後には振り返りを行い、プログラムを発展させていくような案を出し合っていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1	平日は室内、休日は外出等、日によって活動を変えている。	課題を決めた上での支援をどのように行っていくか今後職員間で話し合いたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9		特性や日々の状況に合わせて活動を組み合わせています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		毎朝申し送りをを行い、留意点や支援内容を共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		良いことやその日気になった事は職員間で伝え合い、共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		個別支援記録を記入し、利用者様への理解につなげていく。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		年2回は計画の見直しを行う。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9			ガイドラインの総則を再度職員間で確認していきたい。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名

縁berry

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		児発管が必ず参加している。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		下校時刻表は学校からFAXで頂いたり、管理者、児発管が事務所に残り対応できるようにしている。	日頃から良好な関係を築いていけるよう、対応は誠実にしていく。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2			今後、医療的ケア児を受け入れることがあれば整備していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3			就学前の段階では連絡を取り合ったりしているが、就学後は共有等なかなかできない為今後努めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	5			卒業生がまだいない。今年度卒業生がいる為、その際には情報提供等を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		専門機関との連絡は随時行っている。	今後はもっと専門機関との連携を深める為、密に連絡をとっていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7			児童館を利用する機会がありますが、一緒に活動する機会がないため、今後はそのような機会を設けていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	6		地域の障害施設連絡会には1度参加している。	協議会等の詳細を詳しく調べ参加できるようにしたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			送迎時や電話で保護者とは密に話をしている。	ささいな事でも伝え合い、気持ちや意識の共有を行っていく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4			ペアレントトレーニングは行っていない。丁寧な対応を心掛けてはいるが、専門的な方法も用いていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			契約時に説明を行い、都度問合せがあれば説明をしている。	わかりやすい言葉遣い、言葉を選んで説明していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			面談を行ったり、電話で相談や助言等を行っている。	コロナで面談を控えていたが、感染症対策をして行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			年に2回は保護者会を開催し、顔を合わせる場を作っている。	コロナで保護者会は行っていなかったが、感染症対策をして開催したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			受けた際にはすぐに対応し、ご自宅への訪問やその後も連絡を取り続けたりしている。	苦情に対しては全職員へ周知、共有をし、再発防止に努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			月に1回お便りを発行し、予定等を知らせている。	
	35	個人情報に十分注意している	9			個人ファイルが保管されている棚は施錠をしている。	施錠は今後も徹底。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			保護者には手紙を書いて、明文化したり、子供には絵カード等を	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名

縁berry

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	8		地域の方を招待する事はしていない。今後できるように検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9		見える所にマニュアルを貼りだし、周知している。	全体に周知できているか不明な所も多々ある為、周知の仕方を工夫していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		施設での避難訓練の他、消防士、警察官立ち合いの訓練も行って	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		研修がないので、施設内で言葉の掛け方等を共有している。	虐待防止研修があれば参加をしていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		保護者への説明は必ず行い、その上でサービス計画にも記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2	保護者の方にアレルギーの事をお聞きしている。	医師の指示書は頂いていないが、可能な範囲で頂き、確認していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		ファイリングして各自見られるようにするとともに、ミーティングの際に読み上げ共有している。	